

生徒感想文

今回の特別講座に参加した生徒の皆さんから、電子メールで受講感想文を送っていただきましたので、以下に紹介します。

なお、掲載に当たって、生徒の原文を尊重することを基本としつつ、文意を損ねない範囲で若干の字句整理などを行っております。

生徒A

今回の特別講座に参加し、多様な視点で物事を見ることの大切さを考える貴重な機会となりました。

私は、世界の方々と関わりあえる仕事に就くことが夢です。そのためには、日本だけでなく、世界中の時事に目を向けなければならないと思い、今回の特別講座に参加させていただきました。高校では国際理解コースということもあり、外国の方と関わる機会が多く、さまざまなお話を聞くことができます。ですが、物事を客観的に考えてしまい、何となくでしか話に目を向けてきませんでした。

しかし、今回、中西先生のパレスチナ問題の授業では、自分の将来の夢のためになるお話を聞くことができました。直接現地に行った方のお話を聞く機会はなかなかないので、とても心に刺さり、吸い込まれるようなお話ばかりでした。

戦争は今も絶えず続いています。唯一の被爆国としてより一層戦争について目を向け、少しでも早く終戦に向かえるよう一歩を踏み出していき、また一人一人が自分自身の問題という意識を持ち、何をしたらよいのかを考えていくべきだと感じました。

生徒B

僕がこの講座に参加したきっかけは、今現在起きている問題、課題について関心を高めるためであり、また同じ人間として知っておきたいことを知るためにこのような講座に参加しました。

僕がこの講座で心に残っているのは、「人としての扱い」という点についてです。ガザ地域では、今私たちが生きている所では到底想像のできない凄惨な状況にあり、胸が痛くなりました。このような問題を解決しようにもそれができない。これが現状というのが、とても悔しくなりました。単純に「世界を一つに」や「宗教を一つに」といった考えが浮かぶのと裏腹に、問題点が多く浮かんでしまいます。そう単純でないと思うと、何が何だかさっぱり分からなくなってしまいます。ですが、「塵も積もれば山となる」というように、無駄なことは一つもないので、時間を要してでも着実に終結につなげていくことが大切だと改めて感じました。日々の生活からこのような問題が、間接的に関わっていることも多々あるので、他人事ではないことを前提に向き合っていくようにしたいです。

生徒C

私は中西久枝先生の「ガザ戦争の人道危機はなぜおきたのか」の授業に関するグループ討論を選択しました。ガザで戦争が起こっているということはニュースなどを通して知っていましたが、ガザ戦争は内容が複雑すぎてあまりよく分かっていま

せんでした。ですが、中西先生の分かりやすい解説や事前資料をよく読んでいたおかげで、このガザ戦争で何が起きているのかよく理解できました。また討論の場では、意欲のある同じ高校生たちと同じ議題について深く掘り下げて討論することができ、一人では思いつかないアイデアや斬新な意見を取り入れ、私たちなりの解決策を見いだすことができました。

こんなに意欲のある高校生たちと討論したことがなかったので、とても楽しくて1時間じゃ全然足りませんでした。また、討論していくうちに自分ももっと世界情勢について勉強しなければいけない点もあり、さまざまな発見がありました。

私はこんな素敵な未来を担う学生がいるなら、今ある世界問題も解決できるのかもしれないと心密かに感じました。

生徒D

1つ目の授業では、パレスチナ問題について学びました。よくニュースで耳にするので、ガザ地区が紛争で大変な状態にあることくらいは知っていたのですが、今回の授業でどのような歴史的背景により、現在どのような紛争状態であるのかをしっかりと理解することができました。2つ目の授業では、地球温暖化についての話を聞きました。今回続く猛暑の原因が確実に地球温暖化であることの根拠を知り、もう目をそらすことのできない問題であり、もっと地球温暖化を意識して生活すべきだと感じました。

そして、今回の講座で一番勉強になったのが最後の話し合いです。みんな初めて出会う人でしたが、パレスチナ問題を解決するためにできることを模索し、私たちのグループはより多くの人がこの問題に関心を持って、知っていくことが必要だとまとめました。これを通して新たな同じ志の仲間とつながることができ、大きな出会いとなりました。この企画に参加して本当に良かったと思います。

生徒E

私は普段から国際問題について興味を持ち、インターネットでニュースや記事を見るものが多くありました。しかし、比べてみると異なったことが書かれていたり、専門的な用語が多く今の自分には理解し難かったりして、正しい情報や知識をつけられずにいました。そんな中、この講座のことを知り、参加させていただきました。

私は特に、授業①の「ガザ戦争の人道危機はなぜおきたのか」について興味を持ち、グループ討論にも参加させていただきました。講師の先生からは実際にパレスチナ地方に訪れた体験談をお聞きすることができ、資料も含め普段知ることができないような情報までとても分かりやすく知ることができ、また、グループ討論では他の学校の高校生と意見を交換し合い、自分とは違う視点の考えを知り、より理解を深めることができました。これらのことからイスラエル、パレスチナだけの問題ではなく、各国が解決に向けそれぞれができることを考え行動すべき国際問題であると改めて感じることができました。

この講座に関わってくださった方々に感謝の気持ちを持ち、この経験を未来へ生かしていきます。

生徒F

愛・知・みらいフォーラムの講座に参加させていただきありがとうございました。

現在問題となっていることについて、専門の方々から詳しい話をお聞きし、自分もそれらの問題について普段よりもより深く考えることができたため、大変有意義な時間になりました。その中で、特に心に残った話があります。それは、自分たちから声を上げることの重要性です。地球規模の問題に立ち向かうために、一人一人が自分の問題として考え、一人一人が声を上げることが必要だと感じました。

また、今回の授業や討論で、私は正解のない問題について考え続けることや、意見の共有の大切さを学びました。これから先も、今が危険な状況だと認識するだけでなく、今の状況の中で自分に何ができるのかを考え続けることを意識していきたいです。

生徒G

私はこの講座に、担任の先生に参加してみないか、と勧められたことがきっかけで、応募をさせていただきました。

私はガザ戦争に関心を持っていたため、中西先生の講義はとても興味深く感じました。杉山先生の地球温暖化の講義も、自分は地球温暖化について知らないことが多くあることを実感することができて、参加して良かったと思います。お二人の社会問題に対する熱量が伝わってきました。

グループ討論でこの講座に参加された生徒の方々と話し合ってみると、皆さん社会問題を解決したいと強く思っているのだと思いました。中西先生によると、イスラエルはガザ地区を攻撃するために、ガザに入植していたユダヤ人を一旦国に戻らせていたそうです。そのことを聞くと、自分のことのように悲しむ生徒の方も多くいて、この講座には他人のことでも悲しむことができる優しい人たちが集まっているのだと感じました。

討論会で話し合ったことを発表しているときには、講義をしてくださった先生方は、私たちの発表を真剣にメモを取って、時折こちらを見ながら話を聞いてくださって、とてもうれしかったです。

私は、このような講座に参加するのは初めてでとても緊張していましたが、先生方や生徒の皆さんからの刺激を受け、成長することができる良い機会になったと思います。この講座に参加をすることができて良かったです。ありがとうございました。

生徒H

元々世界の社会情勢に興味があり、ガザの状況についても、ニュースやSNSで見たり調べたりしていたのですが、歴史の深い問題なので知らない用語が多く、難しいなと思っていたところ、この講座の募集を目にしたので参加させていただきました。

事前学習の資料から、知りたかった、どういった対立が起きているのか、また世界がどのように関わっているのかを知ることができ、講義からはより詳しく実際に起きている状況や被害の実態をさまざまな視点から学ぶことができました。

グループディスカッションは、最初は本当に不安で緊張していたのですが、同じことに関心を持っている人と話したり、様々な意見を聞いたりするのが本当に楽しく、また世界情勢の問題を自分ごととして考えてそれを発信できるのが面白かったです。

たくさんの学びを得ることができ、また普段は関わることのない他校の人と友達になることができ、とても参加して良かったと思っています。ありがとうございました。

生徒 I

まず、なぜ私が高校生夏休み国際理解教育特別講座に参加したかという点、今回のテーマでもある民族問題や環境問題に関してよく知らないことが多くあったため、これらの問題について高い解像度で理解し研究されている専門家の方から詳しく学ぶことができるよい機会だと考えたからです。

また、同年代の他の人はどのような意見を持っているのか、どのように考えるのか、意見を交わしたかったため参加しようと思いました。問題に対してどうすればよりよい社会になるか、学んだことと自分の持っている知識から意見を出し合ってみんなで考え、グループで一つの答えを出すことができたのは良い経験になりました。地球温暖化の現状や予測について授業でお話を聞いたとき、問題の大きさを実感し、やはりこのままではいけないと再認識することができました。

また、グループ討論は、私たちがやるべきこと、できることについてよく考える材料になり、後から自分の生活について考え直すきっかけにもなりました。今回学んだことはこれからも意識して生活し、伝えていきたいと思っています。

生徒 J

今回の講座では、とても貴重な体験をさせていただきました。先生方のお話を聞くことや他校の生徒と討論したことで、新たな発見や色々な見方を学ぶことができました。

私は杉山先生の環境問題についてのお話が印象に残っています。今まで私は、地球温暖化の解決策について真剣に考えたことがあまりありませんでした。なぜなら、正直自分たちだけで食い止められるそんな単純なことではないだろうと考えていたからです。しかしグループで話し合い、気がついたことがあります。それはとても大きなことを成し遂げるというよりも、小さな努力を一つずつ積み重ねていけば解決の第一歩になるということです。環境問題は特定の人ではなく、一人一人の意識の欠如により引き起こされています。これからは環境問題を他人事のように捉えず、前向きに行動していきたいです。

今回はこのような機会を設けていただきありがとうございました。この講座で得た知識を活かして、これからの人生で全力で役立てていこうと思います。

生徒 K

私は高校ではボランティア部に所属しており、ルワンダで作られたフェアトレード商品を販売したり、異文化理解を目的として、バングラデシュ人の講師の方をお招きして、一緒にバングラデシュ料理を作る「エシカルに食べる」というイベントを名古屋ユネスコ協会青年部と共催したりしたほか、地域の方との交流などさまざまな活動を行っています。そういった活動を行う中で、国際理解や国際協力への関心が徐々に高まっていきました。そこで、新聞でこの特別講座があることを知り、パレスチナの戦争を終わらせるにはどうするべきなのかを考えたいと思ったことが参加した動機です。

講義では、なぜパレスチナの紛争が続いているのかといったことを知って、パレスチナ問題はやはり簡単には解決できない問題であると改めて感じました。そんな中でもお互いの文化と価値観を尊重することが大切だと思いました。講義で学んだ内容から、グループ討論でイスラエルとガザの戦争の解決策について真剣に議論したことで、他の人の意見が知れて新しい考え方を取り入れることができました。

生徒L

私は今回愛・知・みらいフォーラム夏休み特別講座に参加して、貴重な体験をすることができました。特に授業②の「地球沸騰化時代、私たちは何をすべきか」で、地球沸騰化や ZEB、ZEH などの自分の知らなかった単語を知れたことです。目指している大学や進路での必要な知識や今回の講座に参加するにあたってインターネットで色々調べたりして、知識を少しでも得た状態で臨みました。しかし、自分の知識外の知らない単語や情報ばかりで、驚きと興味が同時に湧き上がり、惹かれました。さらには他の高校生たちの頭が私より断然よく、私より多くの知識を持っていて、グループ討論や発表の際に知らなかったことが多く、とても勉強になりました。

グループ討論の際に先生に意見を聞いたところ、とても身になるようなアドバイスや自分の考えを促進させるような言葉をいただいて、知見や考えがとても広がりました。

生徒M

私は地球沸騰化についてより深掘りしました。私は中学、高校で環境問題については長く学習していたつもりでしたが、新しい言葉が次から次へと出てきてこの問題の深さに驚きました。まず、中学生の頃は地球温暖化という言葉で学習していましたが、今は地球沸騰化という言葉に変わっており、短い期間で地球の平均気温が爆発的に上がっていることに動揺が隠せませんでした。

急速に地球沸騰化が進む中、自分が何かエコ活動に寄与したって何も変わらないと考えている若者はとても多いと感じます。しかし、このような考え方の人が増加したまま、時代が進むと地球は本当に住めない土地へと姿を変えてしまうことに私は焦っています。

グループ討論では、政治に参加することで問題を解決に導くことができると結論づけました。大きな環境対策を行うのは政府です。私たちが選挙で適切な政治家を選ぶことで対策がとられるでしょう。環境問題について深く、さまざまな意見とともに考えることができたこの機会は、私の問題意識向上に大きく役立ったことは間違いありません。

生徒N

2024 年度高校生夏休み国際理解教育特別講座に参加させていただきありがとうございました。講座を受けて、深刻に今の地球社会が抱える問題を考える必要があると思いました。また、問題解決のためには多くの人たちに問題について知ってもらう必要があると学びました。そのために SNS などを通して、より多くの人たちに発信することが重要であると思いました。

私はガザ戦争や地球温暖化の知識がない状態で参加させていただきましたが、講

義の中で他の学校の参加者たちは、熱心にメモをとったり、疑問に思ったことや問題に対して自分が思ったことを意見したりと、非常に良い刺激を受けることができました。そして自分の無知さを思い知らされました。今回は本当にいい体験をさせていただきました。この経験をきっかけに、精進していきたいと思います。

生徒O

どちらの問題に関しても、以前は全然当事者意識はなく、ニュースでも聞き流してしまっていました。ですが今回の貴重な機会のおかげで、私たちがアクションを起こしていかなければいけない、少しずつでも日常生活を変えたり、政府に訴えかけていったりしなければいけないと感じました。

また、私はガザ地域の問題についての討論に参加させていただきましたが、他校で年齢も違う、意見も違う生徒さんたちとお話しできたのが良かったです。私が今まで考えたことのないような意見を聞いたり、自分の発言に対して意見が返ってきたりすること、またそれによりどんどん深い話ができることがとてもいい経験になったと思います。

私はこれから、国際系の学部に進んで世界についてもっと学んで、少しずつでも世界をよりよく変えていきたいと思っています。その第一歩になる素晴らしい講義をしてくださった先生方、ありがとうございました。

生徒P

このイベントは、今世界で問題になっていることを先生方から詳しく聞くことができる貴重な機会でした。ガザ地区の話はテレビではずっと聴いていたけれど、何がきっかけで、どの勢力がどこで戦っている、などの詳しい状況などはよく理解できていなかったのですが、今回の講義でそのことを知ることができました。また、グループの発表では（私は②についての話し合いに参加しましたが）私と同じような考えを発表しているグループがありました。共通の興味がある高校生の方たちと自分の意見を話し、また他の方と議論をする、ということを前からやってみたかったので、今回の講義、グループ討論はとてもいい経験になったと思います。

地球温暖化は今、そして未来にまたがる問題です。次の世代を担っていく私たちの年齢層の人が温暖化への意識を高めることは重要であると思います。講義では教科書で学ぶよりも、もっと今は深刻な状況にあるということを知りました。身近でできる小さなことから見直して実践しようと思いました。

以前にクラスの人と世界平和、国際協力の話し合いをする機会があったのですが、私以外の人あまりその分野に興味がないようで、討論に積極的に参加してくれず、半分以上私が1人で考えてグループ課題を提出する、という状況になったことがありました。その時にこの話題について興味のある人と積極的な議論をしたいと思っていたところ、この国際理解教育特別講座のチラシを学校でもらい参加しました。

先生方の講義を受け、知らなかったことも知れて、さらに積極的な討論に参加することができて、とても楽しかったです。来年も参加したいと思います。

生徒Q

愛・知・みらいフォーラムの特別講座で自分が一番ためになったと思うことは、実際のイスラエルの世論を聞くことができたことです。また午後からの討論も、自

分らない意見に触れる良い機会になりました。

講義の内容も偏りのない多角的なもので自分の視野を広げるいい手助けになったと思います。パレスチナ問題の発端は決して去年のハマスの襲撃ではなく、長い歴史の中で宗教的価値観の違いから発生した文化摩擦によるものなので、限られた期間の断片的な情報だけで判断するのはいけないということを学びました。自分の中にパレスチナ問題を落とし込めたいいい経験になりました。

生徒R

貴重な機会をいただきありがとうございました。

特に思い出に残っているのは「地球沸騰化時代、私たちは何をすべきか」という講義をしてくださった杉山先生が何回もおっしゃっていた「答えは一つじゃない」という教えです。地球沸騰化で気候が変わってしまっていたり、パリ協定で採択された気温上昇を 1.5℃に抑える話が全然抑えられていなかったりしている現状を講義で知りました。そして、先生の言葉を聞いて、解決策のアプローチは一つではないということに環境問題の重さの含みがあると、とても考えさせられました。実際にグループで解決策を話し合ったときも空飛ぶ車の案や風力発電の案など複数出ました。風や山、森など自然を形成するものがいくつかあるように解決策も複数生み出して、環境問題を一つ一つ少しでも減らせていけたら良いと本当に思いました。

本当にこの講座は私にとって有意義な時間となり、今回学んだことをここで止まらせてはいけないという想いが私の中で芽生えました。私はメディア系の道に進みたいと考えているので、今回学んだことを情報として広めていけるようにしたいです。このように自分ができることを見つけて動いていく力がかなり必要だということにも気づかされました。

生徒S

今回私がこの高校生夏休み国際理解教育特別講座に参加させていただいた理由は、自ら研究したい内容を考え、それについて発表をするという課題が出され、私は戦争について興味を持ちましたので知識を深めようと思ったからです。

今回参加させていただいて、ガザ戦争でのパレスチナ人の被害内容やそれについての国際連合の対応、また、地球沸騰化の状況やその世界への影響について学ばせていただきました。

また、初対面の人と討論を行うことは初めてでしたので、私にとってとても貴重な経験となりました。そしてそれぞれのグループで出された提案の中で中西教授が注目された「新しい国際連合を設立しよう」という提案は、もう既に議論されているとおっしゃっており、私たちの実現するには難しいのではないかと思う提案でも案外できてしまうのだなと思いました。そして、私たちにとって考えるといった想像力が大切だということを学び、仲間たちと意見を出し合ったりして助け合いながら、この力を伸ばしていけるようにしていきたいなと思いました。

この度は参加させていただきましてありがとうございました。

生徒T

私は最近まで世界で行われている戦争のことを知ってはいても、どうしてその戦争が起こってしまったのかまでは考えていませんでした。ですが今回の授業で、世

界で起きるいろんなことは、すべて必ず原因があるんだということが分かりました。原因を突き詰めていくと必ず矛盾が生まれ世界は決して平等ではないんだ、しっかり勉強しないと政府や世界機関に騙されてしまうということが分かりました。なので私はもっと世界のことを知りたいと思いました。

そして温暖化については、誰かから聞いて知ったとか、学校で浅く取り扱うくらいで、今回の授業のように詳しく説明してもらおうということがなく、初めて知ったり、初めて見たりするデータだったのでとても興味深かったです。今回の授業で自分なら何ができるかを現実的に考えたとき、たくさんやれることはあるんだと思いました。そういった小さなこと一つ一つをみんなで作っていくことによって一つじゃなくなるということに気づけました。なので、私はもっと積極的に自分からリサイクルの習慣を身につけたりすることが重要だと思いました。

生徒U

今日は他の高校の生徒の方と交流できる、貴重な機会を設けていただきありがとうございました。私が今日の話聞いて思ったことは、パレスチナ問題は2カ国だけの話ではない、ということです。パレスチナ問題を思い浮かべると、パレスチナとイスラエルの間での単なる領土の奪い合いだと思ってしまいがちです。しかし、この問題の根本はイギリスの三枚舌外交があります。イギリスがどの国にもいい顔をしようとした結果、想像もしなかった大きな国際問題となり、結局イギリスも手をつけられなくなっている状態です。また、今日初めて学んだことは、アメリカが大きくこの問題に関わっているということです。小国同士の争いではいかに権力を持つ大国を味方につけるかなので、大国がつくとだいぶ戦況が変化します。

今日の討論では、五大国に認められている拒否権を破棄するのが良いと自分の意見を言えたこと、それに対して、拒否権に拒否権で返すことはできるのかなど自分が思いつかなかった視点から意見をもらったことがとても新鮮でした。

生徒V

まず今日は講座に参加し貴重な体験をすることができました、ありがとうございます。僕は、温暖化やガザの問題に特に興味があるわけではなく、面白そうだなというところから参加させていただきました。そのような状況で特に知識のない自分でも分かりやすい資料と説明でとても勉強になりました。

ガザの問題では、テレビでは分からない、学校ではなかなか知り得ない現地での体験について聞くことができました。地球沸騰化の話では、中学校、高校の調べ学習で、自分が調べたようなことが聞けるのかなと思っていましたが、自分が思っていた以上の知識や図を知ることができました。このことを知った状態で調べ学習ができていたら、とも思いました。

グループ討論では、普段関わることのない異なった高校、学年など新しい仲間と話し合いをすることができ、さまざまな意見があることを知り、またその意見について話し合うという新鮮な体験ができました。本当にありがとうございました。

(以上)